



イオン北海道からみなさまへ

地球環境の保全に貢献するため 「植樹活動」を行っています



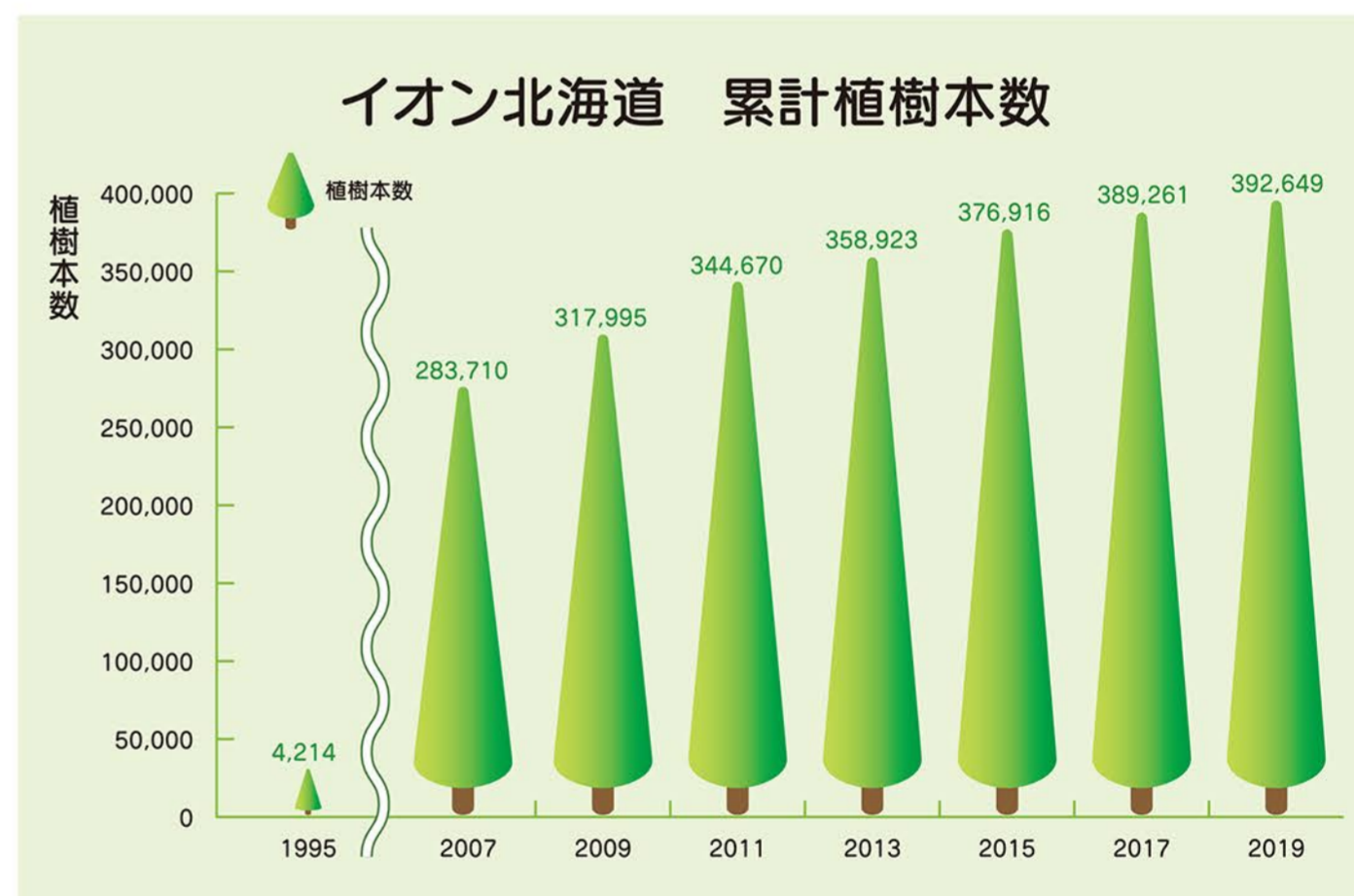
北海道
南富良野町植樹



イオン
ふるさとの森づくり

従業員や地域のお客さまとともに
これまで約39万本の木を植えました

イオンでは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」という基本理念にもとづき、植樹活動や資源の再利用など地球環境を守るための環境活動に取り組んでまいりました。イオンの植樹活動は1991年からスタート。お店がオープンする際に、「店舗が地域に根ざし、地域のコミュニティの場となること、さらには緑を育む心が世界に広がるように」との願いを込め、その敷地内に従業員やお客さまとともに木を植える「イオン ふるさとの森づくり」を行っています。また公益財団法人イオン環境財団では、自然災害などで荒廃した森を再生させることを目的に国内外で植樹活動を行っています。北海道では知床や支笏湖、



むかわ町や厚真町、南富良野町などで植樹を実施し、これまで392,649本の木を植えました。

イオン北海道は今後も、豊かな自然と人々の暮らしを守るため、植樹をはじめとする環境保全活動を積極的に推進してまいります。

SDGsの
取り組み



SDGs(持続可能な開発目標)とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標12、13、14、15、17の達成に貢献します。